

J-CARAF症例登録結果の概要 平成25年3月15日

調査対象期間 H24年9月				
施設数	156	症例数	1252	(8.0/施設)
年齢	62.2±10.6歳			
性別	男	938(74.9%)	女	312(25.0%)

セッション回数	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回め
	969	233	43	6	0	1
	77.4%	18.6%	3.4%	0.5%	0.0%	0.1%

型	発作性	持続性	長期持続性
	801	279	172
	64.0%	22.3%	13.7%

発作性AFの頻度	<1/月	<1/週	<1/日	1/日以上	不明
	155	258	203	83	102
	19.4%	32.2%	25.3%	10.4%	12.7%

血栓塞栓症のリスクスコア (CHA2DS2-VASc)	Lone AF	C/心不全	H/高血圧	A2/75歳以上	D/糖尿病	S2/脳梗塞・TIA	V/血管疾患	A/65-74歳	Sc/女性
	281	149	616	109	170	113	76	440	291
	22.4%	11.9%	49.2%	8.7%	13.6%	9.0%	6.1%	35.1%	23.2%

CHA2DS2-VAScスコア	0	1	2	3	4	5以上	スコアの平均
	258	347	314	196	84	53	1.7±1.4%
	20.6%	27.7%	25.1%	15.7%	6.7%	4.2%	

上記に無い基礎疾患	CAD	DCM	HCM	その他の心筋疾患(サルコイドーシスなど)	洞不全症候群	甲状腺機能亢進症、その既往	慢性呼吸器疾患	先天性心疾患	後天性弁膜症	人工透析を要する腎症
	71	19	27	8	78	29	11	9	38	20
	5.7%	1.5%	2.2%	0.6%	6.2%	2.3%	0.9%	0.7%	3.0%	1.6%
	開心術/術後癒痕とAFとの関連あり	開心術/術後癒痕とAFとの関連無し、不明								
	4	14								
	0.3%	1.1%								

心エコーのデータ	左室駆出率(%)	左房径(mm)	左房容積(ml)
	64.3±9.5	40.3±6.7	69.2±33.0

抗不整脈薬の服用歴	ジソピラミド	シベンゾリン	アプリンジン	ビルジカイニド	フレカイニド	プロパフェノン	ペプリジル	ソタコール	アミオダロン	その他
	79	181	66	354	187	48	271	17	85	88
	6.3%	14.5%	5.3%	28.3%	14.9%	3.8%	21.6%	1.4%	6.8%	7.0%

アブレーション前検査	経食道心エコー/TEE	MRI	MDCT
	1003	35	1054
	80.1%	2.8%	84.2%

要した時間、システム	治療時間	特殊な診断治療機器	透視
	入室から退室までの時間	CARTO	EnSite
	3.5±1.3h	865	326
		69.1%	26.0%
			イリゲーションカテーテ
			1118
			65.2±47.2分
			89.3%

焼灼法	PV隔離上 下PV一括隔 離	PV隔離 Box 隔離 (4本 一括隔離)	PV隔離個 別隔離	PV隔離そ の他	PV隔離を施 行せず	右房の CFAE	左房の CFAE	RA focal	LA focal	LA 線状/天 蓋部
	983	57	157	6	20	50	152	46	50	230
	78.5%	4.6%	12.5%	0.5%	1.6%	4.0%	12.1%	3.7%	4.0%	18.4%
	LA 線状/借 房弁輪など (PV隔離と 天蓋部以 外)	右房解剖学 的峡部	SVC/focal or 隔離	GPアブレー ション	冠静脈洞/ focal, linear	PLSVC/ focal, linear	LOM			
	190	722	212	57	41	0	11			
	15.2%	57.7%	16.9%	4.6%	3.3%	0.0%	0.9%			

術中も作用を 残した抗凝固 療法	ワーファリン	直接トロンビ ン阻害薬(プ ラザキサ)	Xa阻害薬	通電温度設 定(°C)
	596	268	37	主に用いた 上限温度 43.9±4.5°C
	47.6%	21.4%	3.0%	

術中の麻酔方 法	局所麻酔の み	浅鎮静(呼 びかけに反 応)	深鎮静(呼 びかけに反 応しない)	全身麻酔
	183	691	517	4
	14.6%	55.2%	41.3%	0.3%

鎮静に用いた 薬剤	プロポ フォール (ディプリバ ン)	デクスメト ミジン (プレ セデックス)	ミダゾラム (ドルミカム)	ペンタゾシン (ソセゴン、 ペンタジン)	ヒドロキシ ン(アタラッ クスP)	フェンタニル	その他
	581	537	73	834	391	102	173
	46.4%	42.9%	5.8%	66.6%	31.2%	8.1%	13.8%

術中モニター	動脈圧	SpO2	ETCO2	BIS
	979	1236	20	181
	78.2%	98.7%	1.6%	14.5%

合併症	侵襲的治療 を要さない 心膜液貯留	穿刺を要し た心膜液貯 留	開胸を要し た心膜液貯 留	処置を行わ なかった弁 損傷	外科治療を 要した弁損 傷	大動脈解離	処置不要の 1度の一過 性房室ブ ロック	処置不要の 2度以上の 一過性房室 ブロック	一時的ペー シングを 行った房室 ブロック	恒久型ペー スメーカーを 要した房室 ブロック
51症例 52件	5 0.4%	18 1.4%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%
	洞停止	TIA	脳梗塞	画像検査で 確認された 無症候の新 鮮脳梗塞	気胸	血胸	遷延性横隔 神経麻痺	敗血症	心筋梗塞	MIに至らな い冠動脈狭 窄
	4 0.3%	0 0.0%	1 0.1%	2 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
	空気塞栓	冠静脈洞解 離	冠静脈洞狭 窄	肺静脈狭窄 (75%以上)	動静脈瘻	穿刺部血腫	後腹膜血腫	仮性動脈瘤	心臓食道瘻	食道神経叢 障害/急性 胃拡張
	3 0.2%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 0.2%	11 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 0.2%
	その他の重 篤な合併症	死亡								
	1 0.1%	0 0.0%								

焼灼後のAF誘発		
施行した回数/ 未施行はゼロ	施行して持 続した(5分 以上の持 続)	施行したが 持続しない (5分未満)
91	593	537
7.3%	47.4%	42.9%

術後のステロイド投与	
心膜炎の治 療に用いた	再発予防の 為に用いた
16	30
1.3%	2.4%

術中の電氣的除細動				
なし	1回	2回	3回	4回以上
729	318	99	46	60

58.2%	25.4%	7.9%	3.7%	4.8%
-------	-------	------	------	------

退室時の調律	洞調律	心房細動	それ以外の調律
	1235	8	4
	98.6%	0.6%	0.3%

退院時の処方	ワルファリン	ブラザキサ	Xa阻害薬	抗血小板薬 (アスピリン等)	ジソピラミド	シベンゾリン	ビルメノー ル	アプリンジン	ビルジカイ ニド	フレカイニド
	688	484	46	83	11	63	4	34	100	120
	55.0%	38.7%	3.7%	6.6%	0.9%	5.0%	0.3%	2.7%	8.0%	9.6%
	プロパフェノ ン	ベプリジル	アミオダロン	その他の抗 不整脈薬	ベラパミル	$\beta$ 遮断薬	ジギタリス	ACE阻害薬	ARB	スタチン
	27	227	76	15	73	350	19	53	264	139
	2.2%	18.1%	6.1%	1.2%	5.8%	28.0%	1.5%	4.2%	21.1%	11.1%